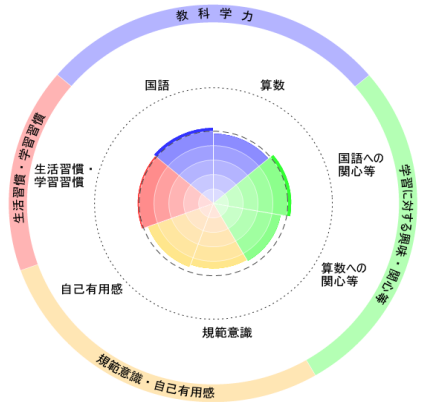


(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策
国語	○文章に対する自分の思いを記述することが得意である。  ○文章の大筋を理解することができる。  ●文章の要点をまとめる力が弱い。  ●同音異義語の漢字の書き取りが苦手である。	・ただ文章を読むのではなく、問われていることなどを意識もって文章を読む経験を積む。  ・同音異義語などを意識した漢字練習を行う。
算数	○ひき算やわり算を工夫して計算する方法を理解している。  ●棒グラフから必要な情報を活用して、課題を解決することが苦手である。	・データの活用の単元において、これまでに習ったグラフや割合の理解を深めながら、新たに習う度数分布表や柱状グラフについて学習していく。

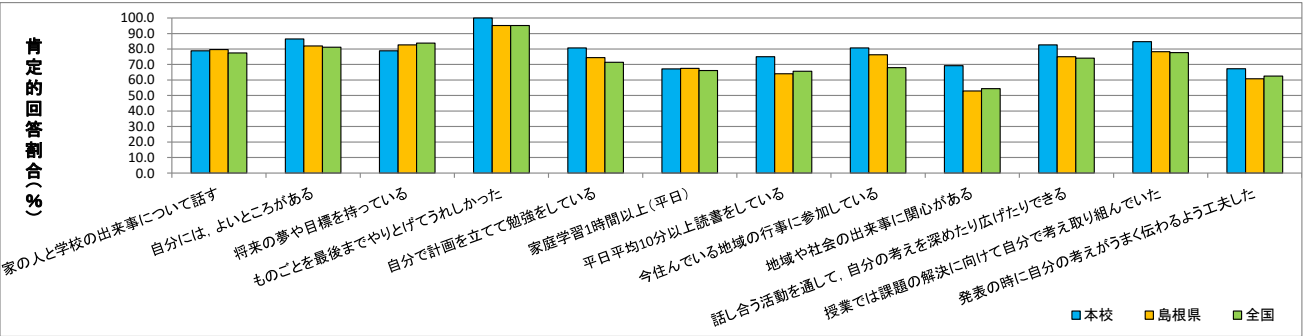
(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向（破線は全国平均）



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・子どもが主体的に学ぶための授業改善
- ・子どもの発言、つぶやきを生かした授業の展開
- ・子どもが問いを見出す問題提示
- ・ペアやグループなどによる協働的な学習の推進
- ・学びを深めるための教師の問い返し
- ・家庭学習の充実
- ・自主学習による学び方の習得
- ・学びをプランニングする力の育成

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



【参考】

○平均正答率

	本 校	松江市	島根県	全国
国語	66	63	62	63.8
算数	65	66	65	66.6

受検者数 51 人  
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示して下さい。